令和2年

救急·救助統計

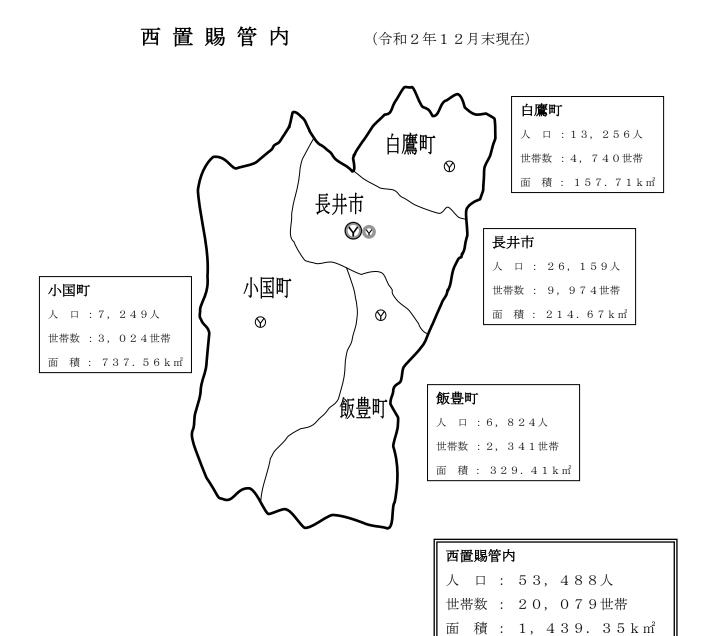


西置賜行政組合消防本部

ーはじめにー

この救急・救助統計は、令和2年中に西置賜行政組合消防本部管内における救急・救助発生状況について集計し、状況を分析したものです。

この統計から救急・救助の実態を知っていただき、ご理解とご協力をいただくとともに、今後の救急・救助業務に資することを目的として作成したものです。



目 次

1	令 和 2 年 救 急 ・ 救 助 活 動 概 要1、2ページ
2	市 町 別 救 急 出 場 件 数 の 推 移
3	市 町 別 救 急 活 動 状 況
4	月別・事故種別出場件数と搬送人員 5ページ
5	曜 日 別 出 場 件 数 と 搬 送 人 員 6ページ
6	事故種別・年齢区分別・傷病程度別搬送人員 ~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~
7	現場到着所要時間別出場件数 ―― 8ページ
8	医療機関収容時間別搬送人員 ――――――――――9ページ
9	事故種別・医療機関別搬送人員 ―― 10ページ
1 0	救 急 隊 員 の 行 っ た 応 急 処 置 件 数 11ページ
1 1	管外搬送人員状況・管内普通救命講習修了者状況 12ページ
1 2	事故種別救助出動件数・活動件数・救助人員 13ページ

救急•救助活動概要

1 業務体制

救急業務は、昭和38年に市町村の消防機関の任務として法制化され、当組合でも昭和47年に広域消防が発足以来、毎年救急業務体制の整備を行っています。

平成7年度に高規格救急自動車及び高度救急資機材を整備し運用を開始して以来、その後 平成12年度小国分署、平成16年度白鷹分署、そして平成18年度飯豊分署に配備となり、 西置賜管内すべての署・分署に整備をいたしました。また、救急救命士が行う処置拡大に伴 い、当消防本部では、5名が気管挿管実習を修了、31名が薬剤投与実習を修了しておりま す。更に、平成26年度からは、心肺機能停止前の重度傷病者に対する処置(静脈路確保、 血糖測定、ブドウ糖溶液の投与)が追加され、30名が実習を修了し高まる住民のニーズに 応えるため救急業務の高度化に邁進しております。

救助業務は、消防署の兼任救助隊1隊及び白鷹・飯豊・小国分署消防隊が救助業務にあたっており、平成6年に救助工作車を配備したのち、平成24年に車両及び救助資機材の更新整備を行いました。また、多様化する水難事故や山岳事故などの災害事案に対応するため、救助隊と各分署隊との合同訓練を行い、基本訓練及び現地を想定した連携訓練を実施し、総合的な救助技術の向上に努めております。

2 救急出場件数と搬送人員の状況

令和2年中における管内の出場件数は1,845件、搬送人員が1,688人で前年と比較し出場件数は244件の減少、搬送人員は283名の減少となりました。

1日平均管内で約5.1件出場し、住民の約32人に1人が搬送されたことになります。 なお、過去10年間の推移はグラフ(3ページ)に示すとおりです。

3 事故種別出場件数の状況

救急出場件数を事故種別ごとに見ますと、急病が1,239件(67.1%)と過半数以上を占め、次いで一般負傷が272件(14.7%)、転院搬送が147件(8.0%)、交通事故が110件(6.0%)という結果でした。

4 傷病程度別搬送人員の状況

搬送人員の1,688人が医師の診断をうけて判明した傷病程度の状況は、中等症が839人(49.7%)と最も多く、次いで軽症590人(35.0%)、重症209人(12.4%)でした。

5 現場到着所要時間別出場件数の状況

119番通報等を受信してから現場到着までの時間を見てみると、5分以上10分未満が

1, 035件(56.1%)で最も多く、全体の半数以上になっています。 なお、これらの平均現場到着は9分49秒となっております。

6 収容所要時間別搬送人員の状況

救急隊の出場から医療機関等に収容するまでに要した時間は、30分以上60分未満が 1,180人(69.9%)と最も多く、次いで20分以上30分未満が393人(23.3%) 60分以上120分未満が91人(5.4%)という結果でした。

7 救急隊員の行った応急処置の状況

搬送人員の1,688人のうち、救急隊員が応急処置を行った傷病者は、1,685人 (搬送人員の99.8%)であり、その内容は血中酸素飽和度の測定が1,635人と最も 多く、次いで血圧測定1,621人、心電図測定951人の順になっております。

また、救急救命士が実施した特定行為は、器具を用いた気道確保2件(うち気管内チューブ使用0件)、静脈路確保54件(うち心肺機能停止前34件)、薬剤投与10件、血糖測定45件、ブドウ糖溶液の投与3件となっております。さらに、包括的指示下による除細動は4件となっております。

8 年齢区分別搬送人員の状況

年齢別に見ますと、65歳以上の方が1,276人で全体の75.6%、18歳から64歳までの方が338人で全体の20.0%となっており、この2つの年代が搬送人員の95.6%を占めております。

9 管内普通救命講習会の実施状況

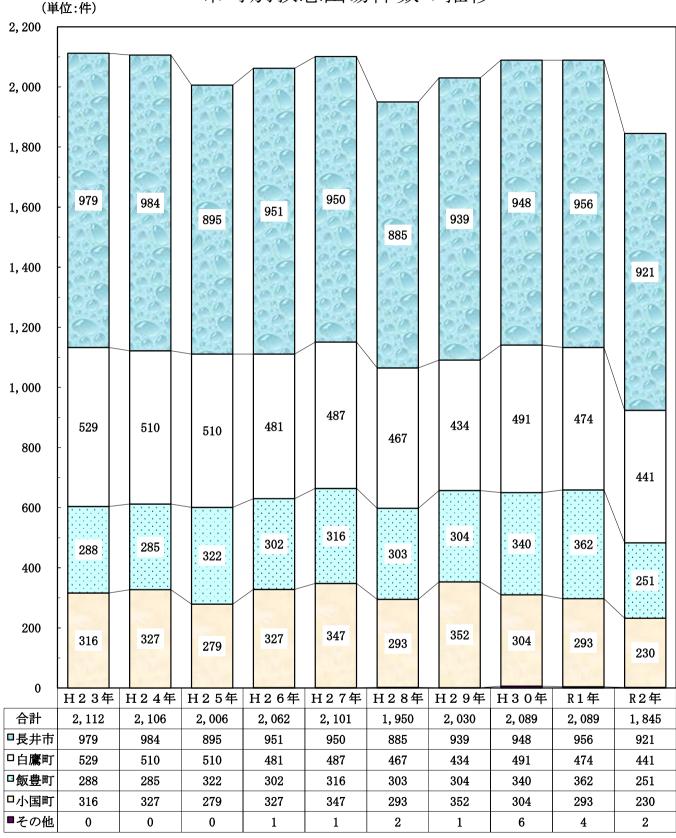
救急業務の高度化が急務となっている現在、救急救命士の養成、救急救命資機材の一層の充実はもとより、住民に広く応急救護の大切さを理解していただき、いつでもどこでも救命処置ができるよう積極的に普通救命講習会を開催し平成5年以降令和2年12月31日現在で合計14,435名に修了証を交付し、16年度からはAED、24年度からはe-ラーニングも取り入れ応急手当の普及啓発に取り組んでいます。

10 救助出動件数と救助人員の状況

救助出動件数は29件で前年より19件の減少、救助人員は15人で前年より9人の減少となっております。

事故種別を見ますと、交通事故が15件で最も多く全体の51.7%を占めております。

市町別救急出場件数の推移



市町別救急活動状況

(R2. 1. 1~R2. 12. 31)

																. 12. 31)
	\	火	自	水	交	労	運	_	加	自	急	そ	の		他	
市	種別		然	難	通	働	動	般	7411	損	1	転	医	資輸	そ	
町			災	事	事	災	競競	負		行		院		器	D	計
別	区別	{ {{}	害	_	-		·		牢	為	定	搬		材質が		
	区別 \	災	苔	故	故	害	技	傷	害	為	病	送	送	等送	他	
長	出場件数	9	1	3	57	6	5	128	1	10	656	43			2	921
井	不搬送件数	8	1	3	12			12		2	35				2	75
市	搬送人員	1			50	6	5	116	1	8	621	43				851
<u></u>	出場件数	6		1	25	5	1	65		5	270	63				441
白鷹	不搬送件数	5		1	6			5		2	30	1				50
町	搬送人員	1			20	5	1	60		3	241	62				393
飯	出場件数	4			10			38		2	193	2			2	251
豊	不搬送件数	4						1		1	6				2	14
町	搬送人員				13			37		1	189	2				242
小	出場件数	7		1	18	1		39		4	120	39			1	230
国	不搬送件数	7		1	6			3		3	11				1	32
町	搬送人員				15	1		36		1	109	39				201
そ	出場件数							2								2
\mathcal{O}	不搬送件数							1								1
他	搬送人員							1								1
	出場件数	26	1	5	110	12	6	272	1	21	1, 239	147			5	1,845
合計	不搬送件数	24	1	5	24			22		8	82	1			5	172
	搬送人員	2			98	12	6	250	1	13	1, 160	146				1, 688

救急救命士の特定行為の実施状況

上 記 出 救 急 救	動件数の命士搭乗	りうち F 件 数 1,845	
	С	① 気 道 確 保うち気管内チューブ	2
	P A	② 静脈路確保のための輸液	20
特		③ 薬 剤 投 与	10
定行	С	④ 静脈路確保及び輸液	34
為	P	うちショック症例	31
	A 前	うち低血糖発作症例	3
	Fi)	⑤ ブドウ糖溶液投与	3
	計 (①)+2+3+4+5)	69
血糖測定	計		45
エピペン	計		
除	計 (a	+b)	4
細	実施者	a 救急救命士	4
動	天 爬乍	b 救急救命士以外	

月別・事故種別出場件数と搬送人員

						1.) (\ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		L		4	(N2. 1. そ	O.	.2. 12.)	他
$ \ $	事故種別		火	自	水	交	労	運	— ·	加	自坦	急	転	医	資輸	そ
		計		然災	難事	通事	働災	動競	般負		損行		院	師	機	の
月別			災	火 害	争 故	故	火 害	技	傷	害	21 為	病	搬 送		材 等送	
月加			火	П	IX.	IX.		111	勿	F	徊	7/3	达	达	守 达	1111
合計	出場件数	1,845	26	1	5	110	12	6	272	1	21	1, 239	147		 	5
I	搬送人員	1,688	2			98	12	6	250	1	13	1, 160		140	6	
1月	出場件数	182	2			5	1		28		3	127	16			
1 / 1	搬送人員	167				3	1		26		2	119		16	;	
2月	出場件数	137	1			3		1	23		2	90	16		 	1
2),	搬送人員	130	1			3		1	22		2	85		16)	
3月	出場件数	146	1			12	1		20		1	101	9		 	1
3)1	搬送人員	141	1			11	1		19		1	99		9		
4月	出場件数	133	2			4	1		16	1	2	101	6			
4万	搬送人員	120				3	1		15	1	1	93		6		
5月	出場件数	167	5			15	1		17		3	111	15			
371	搬送人員	155				16	1		17		1	105		15	,	
6月	出場件数	131	1		1	10		1	18		2	89	9			
0)1	搬送人員	124				11		1	16		1	86		9		
7月	出場件数	157	1	1	1	7	2	1	26		1	106	10			1
1)1	搬送人員	137				7	2	1	22			95		10)	
8月	出場件数	179	5			4			22		2	129	15			2
0),	搬送人員	162				4			20		2	122		14		
9月	出場件数	144	1		2	11	1	2	25		2	91	9	ļ	 	
3),	搬送人員	124				7	1	2	23			82		9		
10月	出場件数	139	3		1	9	1		25		2	83	15		 	
1 0),	搬送人員	127				8	1		23		2	78		15	j	
11月	出場件数	155	3			11	3		22			105	11			
11月	搬送人員	137				8	3		19			96		11		
12月	出場件数	175	1			19	1	1	30		1	106	16			
1 4 月	搬送人員	164				17	1	1	28		1	100		16	;	· - · - ·

曜日別・事故種別出場件数と搬送人員

											(1\∠.	1.1∼R2.1	14. 31)
	事故種別	計	火	自然災	水難事	交通事	労働災	運動競	一般負	加	自損行	急	その
曜日	別		災	害	故	故	害	技	傷	害	為	病	他
合計	出場件数	1,845	26	1	5	110	12	6	272	1	21	1, 239	152
	搬送人員	1, 688	2			98	12	6	250	1	13	1, 160	146
日	出場件数	259	1		1	19		3	47		2	180	6
H	搬送人員	240				21		3	44		1	166	5
月	出場件数	289	2			9	2		39		3	192	42
Л	搬送人員	267				7	2		35		2	182	39
火	出場件数	269	6	1		22	4		31		3	186	16
<u></u>	搬送人員	240				19	4		27		1	173	16
水	出場件数	261	4		1	16	4		32		3	172	29
/\\ 	搬送人員	233				13	4		29		1	157	29
木	出場件数	263	6		1	19	1		45		6	174	11
/\ 	搬送人員	240	1			13	1		43		4	167	11
金	出場件数	254	3		1	12	1		39		2	165	31
並	搬送人員	234				12	1		35		2	155	29
土	出場件数	250	4		1	13		3	39	1	2	170	17
	搬送人員	234	1			13		3	37	1	2	160	17

事故種別年齡区分別傷病程度別搬送人員

(R2. 1. 1~R2. 12. 31)

											(RZ.	$1.1\sim$ R2	2. 12. 31)
年齢区分	事故種別	火	自然災	水難事:	交通事:	労 働 災	運動競	一般負	加	自損行;	急	その:	計
N	傷病程度	災	害	故	故	害	技	傷	害	為	病	他	
	死 亡	1						7		3	38	1	50
合	重症				8	2	,	16		1	149	33	209
	中等症				34	9	3	112		7	573	101	839
計	軽症	1			56	1	3	115	1	2	400	11	590
РΙ	その他												
	計	2			98	12	6	250	1	13	1, 160	146	1,688
新	死亡												
利	重症												
生	中等症	 	 										
	軽症										1		1
児	その他										1		1
\vdash	計 死 亡										1		1
乳	重症							1			1 1		1
1.5	中等症				1						6	1	2 9
幼	軽 症				1			1 8			21	<u>_</u>	29
児	その他										21		23
УĽ	計				1			10			29	1	41
	死 亡				_			2.0					
少	重症												
9	中等症						3	1			6		10
	軽 症				6		1	1			13	1	22
年	その他												
	計				6		4	2			19	1	32
	死 亡									1	6		7
成	重症				3	2		2		,	20	7	34
,,,,	中等症				20	6	,	15		4	76	18	139
人	軽症				36	1	1	16		2	100	2	158
八	その他												
	計				59	9	1	33		7	202	27	338
+	死亡	1						7		2	31	1	42
高	重症	 	 		5		 	13		1	128	26	173
齢	中等症		 		13	3		95		3	485	82	681
	軽症	1	 		14		1	90	1		265	8	380
者	その他							00.					4 050
	計	2			32	3	1	205	1	6	909	117	1, 276

※ 新生児 生後28日以内の者

乳幼児 生後29日以上、満7歳未満の者 少 年 満7歳以上、満18歳未満の者 成 人 満18歳以上、65歳未満の者

高齢者 満65歳以上の者

現場到着所要時間別出場件数(救急隊別)

 $(R2. 1. 1 \sim R2. 12. 31)$

									(R2. 1. 1∼ŀ	(4, 14, 51)
事故種別	所要時間 救急隊名	3分未満	3分以上5分未満	5分以上10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計		現場到着最長所要時間	現場到着平 均所要時間
70.1	消防署救急隊	2	13	517	319	27	878	(分) 1	(分) 69	(分:秒) 10:00
_		3	59	236	109	4	411	0	23	7:58
合	5		7							
計		4		161	152	19	343	0	160	11:07
PΙ	小国救急隊	2	8	121	57	25	213	0	35	10:32
	合 計	11	87	1, 035	637	75	1, 845	0	160	9:49
	消防署救急隊	2	9	370	226	4	611	1	46	9:12
急	白鷹救急隊	2	16	164	73	2	257	0	23	8:12
4	飯豊救急隊	2	7	131	106	8	254	1	37	9:54
病	小国救急隊	1	6	58	38	14	117	0	32	10:54
	合 計	7	38	723	443	28	1, 239	0	46	9:18
交	消防署救急隊			26	23	6	55	5	35	11:54
通	白鷹救急隊	1	1	8	10	2	22	2	23	11:00
事	飯豊救急隊	1		5	12	2	20	0	29	12:48
	小国救急隊			4	5	4	13	6	33	16:00
故	合 計	2	1	43	50	14	110	0	35	12:22
_	消防署救急隊		4	69	43	3	119	3	41	9:48
般	白鷹救急隊		5	39	18		62	4	15	8:24
	飯豊救急隊	1		22	26	4	53	1	160	13:48
負	小国救急隊			21	11	6	38	5	26	11:12
傷	合 計	1	9	151	98	13	272	1	160	10:28
	消防署救急隊			52	27	14	93	5	69	14:24
そ	白鷹 救急隊		37	25	8		70	3	17	5:48
の	飯豊救急隊			3	8	5	16	5	74	19:18
(H1	小国救急隊	1	2	38	3	1	45	0	35	7:24
TU	合 計	1	39	118	46	20	224	0	74	10:40
他	合 計	1	39	118	46	20	224	0	74	10:4

医療機関収容時間別搬送人員(救急隊別)

事故	所要時間	10分	未満	10分 20分			以上 未満		·以上 ·未満		未満	120分	分以上	ij	+	収容最短	収容最長 所要時間	収容平均 所要時間
種別	救急隊名		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外	(分)	(分)	(分:秒)
	消防署救急隊			1	1	190	187	594	588	19	19	1		805	795	19	153	35:47
合	白鷹救急隊			9	1	95	3	255	202	11	9	1	1	371	216	15	136	37:20
	飯豊救急隊			1	1	73	73	228	225	16	14			318	313	19	107	36:19
計	小国救急隊			10	1	35	1	103	73	45	39	1	1	194	115	13	124	48:42
	合 計			21	4	393	264	1, 180	1,088	91	81	3	2	1,688	1, 439	13	153	37:43
	消防署救急隊			1	1	129	126	442	437	7	7			579	571	19	103	35:24
急	白鷹救急隊			7	1	81	1	134	93	5	5			227	100	15	76	35:06
	飯豊救急隊					60	60	179	177	9	9			248	246	20	107	35:36
病	小国救急隊			7		24	1	46	21	29	24			106	46	13	111	46:42
	合 計			15	2	294	188	801	728	50	45			1, 160	963	13	111	36:25
交	消防署救急隊					10	10	36	35	2	2			48	47	23	73	37:00
通	白鷹救急隊			1				19	19					20	19	18	57	42:36
事	飯豊救急隊					4	4	9	9	4	2			17	15	22	75	43:06
,	小国救急隊					1		7	6	4	4	1	1	13	11	24	124	61:36
故	合 計			1		15	14	71	69	10	8	1	1	98	92	18	124	42:28
_	消防署救急隊					24	24	84	84	3	3			111	111	23	95	36:36
般	白鷹救急隊			1		9		47	35					57	35	18	55	38:54
負	飯豊救急隊			1	1	7	7	37	36	2	2			47	46	19	99	37:00
	小国救急隊			2		10		15	11	8	7			35	18	16	89	45:30
傷	合 計			4	1	50	31	183	166	13	12			250	210	16	99	38:27
1	消防署救急隊					27	27	32	32	7	7	1		67	66	24	153	37:00
そ	白鷹救急隊					5	2	55	55	6	4	1	1	67	62	22	136	42:00
Ø	飯豊救急隊					2	2	3	3	1	1			6	6	22	74	40:48
他	小国救急隊			1	1			35	35	4	4			40	40	17	83	52:36
	合 計			1	1	34	31	125	125	18	16	2	1	180	174	17	153	42:27

事故種別医療機関別搬送人員

	事	故種別	急	病	交 通	事 故	一般	負傷	その			+
医療機	後関別 へ			うち管外		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外
4. F	国	<u> </u>	2	2			1	1	15	15	18	18
救医	公	立	1, 153	959	98	92	249	209	164	158	1, 664	1, 418
急療	公	的										
告機	私的	病院	1	1					1	1	2	2
示関	化工门	診療所										
7.12	į	計	1, 156	962	98	92	250	210	180	174	1, 684	1, 438
3 I	玉	<u> </u>										
そ医	公	<u> </u>	1								1	
の療	公	的										
他機	私的	病院	1								1	
の関	47HJ	診療所	2	1							2	1
29	Ē	†	4	1							4	1
	国	立	2	2			1	1	15	15	18	18
	公	立	1, 154	959	98	92	249	209	164	158	1, 665	1, 418
計	公	的										
БI	私的	病院	2	1					1	1	3	2
	1241	診療所	2	1							2	1
	į	計	1, 160	963	98	92	250	210	180	174	1, 688	1, 439
その	接骨	院等										
の場	そ(の 他										
他所	Ē	 										_
合		計	1, 160	963	98	92	250	210	180	174	1, 688	1, 439

救急隊員の行った応急処置件数

			1	(1\2, 1, 1	. N2. 12. 01)
事故種別 応急処置	合 計	急病	交通事故	一般負傷	その他
搬送人員	1, 688	1, 160	98	250	180
処 置 対 象 人 員	1, 685	1, 158	98	250	179
応 急 処 置 合 計	5, 371	3, 783	317	729	542
止 血	43	1	12	28	2
固 定	78	1	52	19	6
人 工 呼 吸	2	1		1	
心マッサージ					
心 肺 蘇 生	57	43	1	8	5
酸素吸入	356	269	6	25	56
気 道 確 保	67	50	2	10	5
※ 1					
※ 2					
※ 3	2	1		1	
※ 4					
保温温	100	72	6	16	6
被覆	46	1	12	27	6
在宅医療法継続	2	2			
Ж А					
Ж В					
※ C	2	2			
ショックパンツ					
除細動	4	4			
薬 剤 投 与	10	7		2	1
その他の応急処置	16	13	1	2	
血 圧 測 定	1,621	1, 116	93	240	172
聴診器による聴取	281	232	12	20	17
血中酸素飽和度	1,635	1, 124	96	242	173
心電図	951	762	22	80	87
静脈路確保(輸液)	54	38	2	8	6
うちCPA前	34	25	1	4	4
うちCPA後	20	13	1	4	2
血 糖 測 定	45	44		1	
エピペン投与					
ブ ド ウ 糖 投 与	3	3			

- 注1 その他とは、火災・自然災害・水難・労働災害・運動競技・加害・自損行為・その他(転院等)をいう。
- 注2 気道確保欄の
 - ※1は、経鼻エアウェイによる気道確保を行った件数をいう。
 - ※2は、喉頭鏡・鉗子による異物除去を行った件数をいう。
 - ※3は、救命士がラリンゲアルマスク等を使用した気道確保を行った件数をいう。
 - ※4は、救命士が気管内チューブを使用して気道確保を行った件数をいう。
- 注3 在宅医療法継続欄の
 - ※Aは、在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法による点滴者への応急処置を行った件数をいう。
 - ※Bは、気管切開孔・気管瘻・人工肛門等の外瘻処置者への応急処置を行った件数をいう。
 - ※Cは、※A・※B以外の処置者への応急処置を行った件数をいう。
- 注4 応急処置は一傷病者に対して複数の処置を行う場合もあるため、
 - 搬送人員・処置対象人員の合計とは必ずしも一致しない。

管外搬送人員状況

(R2. 1. 1~R2. 12. 31)

医療機関名	搬送人員	医 療	機関名	搬送人員
公立置賜総合病院	1, 407	山形大学[医学部附属病院	18
山形県立中央病院	6	山形市立	方病院済生館	1
佐 藤 病 院	0	米 沢 ī	市立病院	2
財団法人三友堂病院	2	新潟大学[医歯学総合病院	0
公立学校共済組合東北中央病院	0			
管外搬送	人員合計		1,	436

管内普通救命講習修了者状況

	長井市	白鷹町	飯豊町	小国町	合計
平 成 5 年	24				24
平 成 6 年	106	111	98	43	358
平 成 7 年	318	46		149	513
平 成 8 年	267	69	87	123	546
平 成 9 年	330	32	187	95	644
平成10年	222	134	54	55	465
平成11年	414	72	88	112	686
平成12年	411	86	107	72	676
平成13年	210	50	31	27	318
平成14年	315	18	106	18	457
平成15年	418	100	40	29	587
平成16年	329	34	46	45	454
平成17年	276	60	95	64	495
平成18年	269	100	80	158	607
平成19年	403	42	75	129	649
平成20年	438	77	48	233	796
平成21年	604	127	50	151	932
平成22年	449	83	61	195	788
平成23年	324	60	51	72	507
平成24年	419	64	61	104	648
平成25年	320	77	61	97	555
平成26年	284	33	64	98	479
平成27年	371	82	79	101	633
平成28年	224	48	71	76	419
平成29年	201	81	21	102	405
平成30年	206	91	34	96	427
令 和 元 年	159	65	45	51	320
令 和 2 年	30	17	0	0	47
合 計	8, 341	1,859	1,740	2, 495	14, 435

事故種別救助出動件数·活動件数·救助人員

(R2. 1. 1~R2. 12. 31)

事故種別市町別・区分		火災	交通 事故	水難 事故	自然 災害	機械 事故	建物 事故	ガス 事故	破裂 事故	その他	合計
合	出動件数		15	5	1	2				6	29
計	活動件数		4	2		2				4	12
	救助人員		4	2		5				4	15
長井市	出動件数		7	2	1	1				1	12
	活動件数		2			1				1	4
	救助人員		2			1				1	4
白鷹町	出動件数		4							1	5
	活動件数		1							1	2
	救助人員		1							1	2
飯豊町	出動件数		1							3	4
	活動件数									2	2
	救助人員									2	2
小国町	出動件数		3	3		1				1	8
	活動件数		1	2		1					4
	救助人員		1	2		4					7
管	出動件数										
外	活動件数										
	救助人員										

月別救助出動件数

(R2. 1. 1~R2. 12. 31)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
1	1	2	1	3	3	4	3	4	2	3	2	29

過去3年間の救助出動状況

事故種別年別	火災	交通 事故	水難 事故	自然 災害	機械 事故	建物 事故	ガス 事故	破裂 事故	その他	合計
平成30年	1	27	2	1	6	1			14	52
令和元年	1	33			1				13	48
令和2年		15	5	1	2				6	29

令和2年版 救急·救助統計

編集·発行 西置賜行政組合消防本部